



# 万全の雪対策を

## 打ち出せ

青木 久子 議員

一層の強化充実を検討する

庄司町長



一層の充実化が求められる除雪事業

### 克雪対策会議を 実施すべき

昨年と今年の反省をふまえ、除雪対策会議を早急に立ち上げるべきではないか。

町長 降雪前の11月中旬に、除雪体制や除雪出動基準、除雪場所、雪道愛護デーに関する説明を、区長を対象とした『道路除雪事業説明会』で行っています。除雪対策の一層の強化充実を図るためには、各方面からの意見もお聞きしながら取り組

むことが必要と思われるので検討します。

流雪溝の問題点はなかったか。

町長 町民生活に大きなトラブルはありません。今後、亀井田地区の面的整備が予定されており、利用地区による自主管理意識の啓発や地域との連携を図り、良好な利用形態を構築します。

国、県への働きかけはもっと強く。予算措置は町独自の強い要望活動を展



投雪量が多くなると詰まる流雪溝

開すべきではないか。町長 少しでも多くの雪対策の財源を確保するため、上京の際に県選出の国会議員や政権党の幹部、総務省の幹部等に直接面会し、当町の豪雪状況を訴え、雪害の状況等も説明し増額

場合、巡回して危険な場所は再度写真も同封し対応します。再質問 条例を制定して対応してはどうか。町長 何度も連絡を取り柔軟に対応します。

空き家の除雪対策に万全を期すべきではないか。

町長 町で把握している空き家は80件です。所有者・管理者が全てわかりますので、降雪前に全員に対して早めの除雪をするように通知し、対応を促します。豪雪対策本部を設置した

利雪の考えはお持ちか。

町長 一つの例として雪灯ろう街道があると思います。どのような方法があるのか、今後探していきます。

建設課長 補修すればある程度改善できるかと思えます。できるだけ延命化していきます。

小菅地区の消雪道路は、建設課長 県にも早急の対応を要請しましたが、来シーズンに向けて施設改善を検討していきます。

管理体制はどうか。

町長 県と町の認識にずれがあるので、実態を把握し、来年度に向けて改めて県側と協議していきます。利用管理については地域が主体的に取り組んでほしいという考えのようです。

### 地域防災計画

雪害対策計画はどうなっている。

町長 積雪が1m50cmを基準とし、豪雪対策調整会議を開催して対策本部設置の検討を行います。設置が決まると地域防災計



急がれる住宅地の排雪

対策にも良い影響が現れることを期待しております。

画に基づき対応します。

冬期間用のマップを作成するべきではないか。

町長 それぞれの団体や町民からご意見を伺い検討してまいります。

### 地域コミュニティ

充実策をどう考えるか。

町長 社会教育・社会体育・福祉等の面において子どもから老人までを対象に多数の事業を行っているところですが、今後はさらに充実すること併せて、地区で行っている行事等を支援する方策を検討してまいりたいと考えています。地域が元気になれば町全体の活性化が図られ、ひいては定住

# 新しい入札制度の目玉は

村形 昌一 議員

## 監視員制度の導入です

庄司町長



### 町民はクリーンな町政を望んだ

町長の権限縮小はいかなものか。町長 今までのことを勘案してこのような制度になったので、私も守っていききたいと思います。

町内業者で出来る所は町内業者に発注し、出来ないところは企業体等で技術力を上げ、業者の育成を図る必要があるのではないか。町長 地元の業者を育成



施設改善による延命が求められる消雪道路

### 消雪道路の現状と今後の見通しは

する考えでやっていきます。

町長 散水方式の消雪道路は老朽化が著しいが、降雪前の施設点検等には特に配慮し、適正な維持管理に努めています。また、大規模な改修が必要な場合は、機械除雪に転換していきます。

消雪道路の状態は今より良くなるか。